

東京都内の音楽会場における感染拡大予防ガイドライン【早見表】

【これは早見表です。詳細は別紙『詳細・補足』を参照して下さい。】

全ての事柄は科学的あるいは経済学的エビデンスにより適宜変更されていきます。

実施者	カテゴリー	内容	運用の程度	
会場 または 主催者	1	来場者追跡	①参加者の把握(管理システム運用)	必須
	2	会場設備	①キャパシティ制限(収容可能人数)	キャパシティの50%程度を推奨
			②室内温度	20～25度推奨
			②室内湿度	50～80%推奨
			③ハンドドライヤー制限	推奨
			④トイレ共通タオル制限	推奨
			⑤連続営業時間制限	推奨
			⑥営業終了時間制限	推奨
	3	消毒・換気	⑦対面接客間の遮断	推奨
			①消毒液設置(出入口と楽屋)	推奨
			②店内消毒	1日1回以上推奨
			③ドア、窓開け換気	2時間に1回程度推奨
			④不特定多数が触る場所の消毒	2時間に1回程度推奨
			⑤マイク消毒	利用者ごと推奨
	4	マスク	⑥鍵盤消毒	利用者ごと推奨
			①従事者マスク着用	必須
			②公演主催者にマスク等着用要請	推奨
			③マスクの販売・配布	推奨
			④無マスク入場制限	推奨
	5	対人距離	⑤来場者に公演中もマスク等着用の要請	推奨
			①会話制限距離	十分な距離を保つことを考慮
			②対人距離	十分な距離を保つことを考慮
			③対面飲食回避	推奨
	6	入場制限	④会場入口の行列での間隔確保	十分な距離を保つことを考慮
			①都民IDチェック	任意
			②再入場許可	推奨
			③入場時体温検査(37.5度)	推奨
			④各部屋に同時滞在推奨人数掲示	推奨
	7	出演者の 行動制限	⑤各部屋に最長滞在推奨時間掲示	推奨
			①歌唱者の口前遮断物	推奨
			②演奏時マスク着用(歌手管楽器除く)	任意
	8	観客の 行動制限	③演奏者、歌唱者と観客との距離	十分な距離を保つことを考慮
			①観客が踊る行為の制限	推奨
			②観客が歌う行為の制限	推奨
			③観客に会話を控えるよう要請	推奨
	9	握手会 撮影会	④観客が大きな声を出す行為の制限	推奨
			①握手会	任意
	10	物販	②撮影会	任意
			①物販	任意
			②物販時演者マスク	推奨

東京都内の音楽会場における感染拡大予防ガイドライン

【詳細・補足】

※簡易確認は別紙『早見表』を参照して下さい

令和2年7月27日策定
日本音楽会場協会

はじめに

本ガイドラインは、ライブハウス等の業界団体が作成した「ライブホール、ライブハウスにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」(令和2年6月13日策定)をベースに、東京都内の音楽会場を対象として日本音楽会場協会が策定したものです。

1. 来場者追跡

①参加者の把握(管理システム運用)【必須】

スタッフ、出演者、来場者、等、施設内に入る人間の情報を記録し（宅配業者などはこれに含まない）、保健所等行政機関から情報の提出を求められた場合は速やかにこれを提供してください。個人情報の取り扱いは慎重に行います。接触確認アプリ等を活用する場合、その旨を事前に周知するようにしてください。

2. 会場設備

①キャパシティ制限(収容可能人数)【キャパシティの50%程度を推奨】

十分な距離を保つことを考慮、周知してください。人と人との距離を可能な限り均等にし、密度が高くなるのを防ぐよう努めてください。

②室内温度【20～25度推奨】・室内湿度【50～80%推奨】

ウイルスが活性化しにくいとされている温度と湿度です。今後科学的エビデンスとともに改定していきます。

③ハンドドライヤー制限【推奨】

飛沫感染予防の為、トイレ内にあるハンドドライヤーの使用を制限します。

④トイレ共通タオル制限 [推奨]

不特定多数の人が触ることを防止する為、トイレ内の共用タオルの使用を制限します。

⑤連続営業時間制限 [推奨]

長時間の滞在により感染のリスクが高まることを防ぎます。

⑥営業終了時間制限 [推奨]

営業時間の短縮が感染拡大防止に大きな効果があると評価はいたしません。しかし会話などコミュニケーションの時間削減を期待します。

⑦対面接客間の遮断 [推奨]

対面での接客はどちらか一方がマスクを着用していない場合、顔と顔の間に遮断物を設置してください。

遮断物は、設置中は毎日消毒し、不燃素材でない場合は火気の無い場所での使用に制限して下さい。

3. 消毒・換気

①消毒液設置(出入口と楽屋) [推奨]

施設出入口と楽屋に消毒用アルコールを設置し、施設内にいる人がいつでも使用できるようにします。可燃性が高いので火気の無い場所に設置して下さい。

②店内消毒 [1日1回以上推奨]

スプレー等を使い店内をくまなく消毒してください。

③ドア、窓開け換気 [2時間に1回程度推奨]

施設内にある全てのドアや窓を可能な限り開けてください。

④不特定多数が触る場所の消毒 [2時間に1回程度推奨]

ドアノブ、手すり等、手が触れる場所をアルコール等を使用して消毒してください。スプレーを吹きかける、拭き取り用の布も併用する、などは各店舗の判断とします。

⑤マイク消毒 [利用者ごと推奨]

マイクのグリル及び本体（持ち手）のアルコール消毒を行なってください。

⑥鍵盤消毒 [利用者ごと推奨]

ピアノ、キーボードなどの鍵盤の消毒を行なってください。

4. マスク

①従事者マスク着用【必須】

従事者は施設内ではマスクを着用してください。

②公演主催者にマスク等着用要請【推奨】

公演主催者は施設内ではマスクを着用するよう要請してください。

③マスク販売・配布【推奨】

マスクの販売・配布 販売もしくは配布用のマスクの在庫を切らすことなく常備に努める。常備枚数の目安は会場キャパシティと同数程度とします。

④無マスク入場制限【推奨】

マスクをしていない人の入場をお断りしてください。所持していない場合は適切な価格で販売または配布してください。公演中もマスク（適宜フェイスガード等）の着用を要請してください。

当日主催者が施設側ではない場合、あらかじめ主催者に上記を要請してください。

⑤来場者に公演中もマスク等着用の要請【推奨】

来場者に対して、公演中もマスクの着用を要請してください。

5. 対人距離

①会話制限距離【十分な距離を保つことを考慮】

会話を制限する距離です。

②対人距離【十分な距離を保つことを考慮】

人と人との距離です。

③対面飲食回避【推奨】

飛沫感染、エアロゾル吸引を防ぐ為、対面の飲食を制限します。

対面飲食中無言の呼びかけ、またはパーテーション等の遮断物を設けるなどの工夫に努めてください。

④会場入口の行列での間隔確保【十分な距離を保つことを考慮】

会場入口などの行列における対人距離です。

6. 入場制限

①都民IDチェック [任意]

会場内で感染が起きた場合、他道府県への感染拡大を防ぐため、身分証明証（社員証、学生証、等）などの提示により都民（都内勤務、都内通学、等）であることを確認します。主催者が施設側でない場合、予め主催者にこの許可をお願いします。確認できない場合はご入場をお断りします。

②再入場許可 [推奨]

換気を十分と感じないなど外気を求める人の為に、再入場の許可を必要とします。主催者が施設側でない場合、予め主催者にこの許可をお願いします。

③来場前の検温の実施 [推奨]

5日以内に平熱を超える発熱をされた場合は来場を控えてもらうよう告知してください。

入場時に体温測定を行い、37.5度以上のお客様のご入場をお断りします。主催者が施設側でない場合、予め主催者にこの許可をお願いします。

※『同じ体温計で2回37.5度以上の体温が測定された場合予備の体温計を使い、更に2回37.5度以上の測定になった場合入場禁止』など、公平性を考慮した判断基準をお考えください。

新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合、過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航並びに当該在住者との濃厚接触がある場合には来場を控えてもらうようにしてください。

来場前に自宅等での検温を励行し、発熱がある場合にはご来場をお控えください。

④各部屋に同時滞在推奨人数掲示 [推奨]

ガイドラインの『キャパシティ制限』を参考に、理想とする同時滞在推奨人数を算出して掲示してください。

⑤各部屋に最長滞在推奨時間掲示 [推奨]

ガイドラインの『ドア、窓開け換気』の時間を参考に、理想とする最長滞在推奨時間を算出して掲示してください。

7. 出演者の行動制限

①歌唱者の口前遮断物【推奨】

歌唱者と観客との間に1mの距離が確保できない場合、飛沫感染防止の為、できるだけ歌唱者の口の前に飛沫遮断物を設置してください。この遮断物を出演者が用意できない場合は、各店舗、または主催者が協議の上用意するよう努めます。

②演奏時マスク着用(歌手管楽器除く)【任意】

歌い手を除いた演奏者が演奏時にマスクを着用することを要請します。

③演奏者、歌唱者と観客との距離【十分な距離を保つことを考慮】

歌唱者と観客が保つ距離です。

8. 観客の行動制限

①観客が踊る行為の制限【推奨】

どのような行為が『踊る』に該当するかは主催者が判断します。

②観客が歌う行為の制限【推奨】

どこまでの声量が『歌う』に該当するかは主催者が判断します。

③観客に会話を控えるよう要請【推奨】

必要最低限の会話のみ行うよう要請してください。

④観客が大きな声を出す行為の制限【推奨】

どの程度の声が『大きな声』に該当するかは主催者が判断します。

9. 握手会・撮影会

①握手会【任意】

主催者は会場の方針や要請を理解した上で出演者（所属事務所など含む）とよく協議を行ってください。開催する場合は、会話は控える、適度な対人距離を保つ、マスク(適宜フェイスガード)着用、可能な限り速やかに握手を終える、などリスク回避に努めてください。

(例：全ての握手の間に70～75%程度のアルコールで手を消毒する、など。)

②撮影会〔任意〕

主催者は会場の方針や要請を理解した上で出演者（所属事務所など含む）とよく協議を行ってください。開催する場合は、適度な対人距離を保つ、マスク(適宜フェイスガード)着用、可能な限り速やかに撮影を終える、などリスク回避に努めてください。

10. 物販

①物販自粛〔任意〕

主催者は会場の方針や要請を理解した上で出演者（所属事務所など含む）とよく協議を行ってください。開催する場合は、適度な対人距離を保つ、マスク(適宜フェイスガード)着用、可能な限り速やかに販売を終える、などリスク回避に努めてください。無人販売は問題ありません（サンプル品は手に取らないよう告知。）

②物販時出演者マスク〔推奨〕

物販を行う際に販売者(出演者)がマスク(適宜フェイスガード)をします。
無言で物販を行う場合はこれを不要とし、販売者(出演者)は口を触らないよう心がけてください。

■その他注意点

・公演において感染予防対策及び感染の疑いのある者が発生した場合には速やかに連携が図れるよう、所轄の保健所との連絡体制を整えてください。

・施設事業者は主催者に対し、持病のある方がご来場される際には感染した場合の重症化リスクが高いことをご理解いただくよう事前に説明し、より慎重な対応を検討するよう要請してください。

(例：マスクとフェイスガードは常に着用する、会話を通常より控える、外気を吸う回数を増やす、など。)

・従事者や主催者のマスク着用は長時間に及びますので、時々口だけを覆い鼻は露出するなど柔軟な運用を行って下さい。

・楽屋等では、手や口が触れる皿やコップについては、適切に洗浄消毒するなど特段の対応を行い、対応が難しい場合には使い捨ての皿やコップを使用してください。

- ・ 機材や備品、用具等の取り扱い者を選定し、不特定者の共有を制限するようにしてください。
- ・ 過度な飲酒への注意喚起を行なってください。
- ・ 来場者へは、出演者の出入待ちは控えるよう呼び掛けてください。
- ・ 店舗事業者や主催者が要請するルールやマナーを遵守できない来場者へは退場を促してください。
- ・ 店舗事業者と協力の上、余裕を持った入場時間を設定し、券種やゾーンごとの時間差での入場、開演時間の前倒し等の工夫を行ってください。
- ・ トイレに蓋がある場合、蓋を閉めて汚物を流すよう表示してください。
- ・ トイレトペーパーに塗布して便座を拭くことができる除菌消毒クリーナーなどの設置を推奨します。
- ・ 現金の取扱いをできるだけ減らすため、オンラインチケットの販売やキャッシュレス決済を推奨します。
- ・ ペットボトルでのドリンク提供も感染防止に有効な手段のひとつとして推奨します。
- ・ ユニフォームや衣服はこまめに洗濯してください。
- ・ 施設の管理・運営に必要な最小限度の人数とするなど、ジョブローテーションを工夫してください。
- ・ 本ガイドライン及びこれを踏まえた現場の対応方針を、全員に周知徹底を図ってください。

全ての事柄は科学的あるいは経済学的エビデンスにより適宜変更されていきます。